

Yahoo!検索、任天堂製Wii(R)の検索機能を提供 ～Wiiの「お気に入り」からYahoo! JAPANへ簡単にアクセス～

2007年4月12日

ヤフー株式会社

Yahoo!検索、任天堂製Wii(R)の検索機能を提供

～Wiiの「お気に入り」からYahoo! JAPANへ簡単にアクセス～

「Yahoo!検索」のアドレス <http://search.yahoo.co.jp/>

Yahoo! JAPANを運営するヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は、任天堂株式会社（以下、任天堂）の家庭用ゲーム機「Wii（ウィー）」のインターネットブラウザ「インターネットチャンネル」に標準検索機能を提供します。「インターネットチャンネル」ではブックマーク機能「お気に入り」にYahoo! JAPANが初期登録されており、テレビでドラマやバラエティー番組、CMなどを見ながら、気になる情報があればすぐにインターネットで検索することが可能です。また同時に、米国をはじめ海外で配信されるインターネットチャンネルにも、米ヤフーが運営する各国のヤフーがお気に入り登録されており、検索機能も提供します。

「インターネットチャンネル」は、テレビからパソコン向けサイトを見るためのフルブラウザソフトで、これまでお試し版が提供されていました。正式版では、新たに双眼鏡マークの「検索ボタン」が、スタートページやツールバーに追加されます。ブラウザ起動時の設定でYahoo! JAPANを選ぶと、「インターネットチャンネル」から、Wii専用の画面にデザインされた「Yahoo!検索」のウェブ検索機能と画像検索機能を利用できます。「インターネットチャンネル」は、Wiiの「ショッピングチャンネル」から2007年6月末まで無償でダウンロードできる予定です。

ウェブ検索では、Yahoo! Search Technology (YST) が提供する検索結果を1画面に最大10件表示します。入力されたキーワードとよく組み合わせて検索される語句「関連検索ワード」を検索結果画面に最大4件表示したり、誤ったキーワードを入力したと思われる場合に「〇〇ではありませんか？」と別の候補を表示する（スペル訂正機能）など、キーワード入力を補助する機能も提供しています。

画像検索では、1画面に最大8件の検索結果を表示します。検索結果画面が自動で切り替わる「スライドショー」機能のほか、検索結果画面右上の虫眼鏡マークをクリックすると画面のサイズや色を絞り込んで再検索できるなど、Wiiの特徴である専用コントローラ「Wiiリモコン」で簡単に検索ができるよう、パソコンと異なった特性を考慮した検索機能も提供しています。検索結果画面下部には、検索回数が急上昇している人名などのキーワードを毎日10件表示します。

また、テレビ画面に検索結果を表示したときに、テレビから離れた場所においても文字が読みやすいよう、全体的に表示を大きくしたり、Wiiの画面デザインと親和性がある色調にするなど工夫しています。テレビによって色出力が異なるという特性なども検討し、検索結果画面の色やデザインをシンプルにしています。なお、検索画面にある「検索設定」で設定変更すれば、通常のパソコン版の検索結果画面も見ることができます。

「Yahoo!検索」は、2006年7月から、任天堂の携帯ゲーム機「ニンテンドーDS」専用のフルブラウザの標準検索機能も提供しています。Yahoo! JAPANでは、パソコン向けポータルサービスの強みを生かし、携帯端末やテレビ、カーナビなどさまざまな製品からのインターネット利用を促進する「Yahoo! Everywhere構想」を今後も推進していく予定です。

【Yahoo! JAPAN】 <http://www.yahoo.co.jp/>

ヤフー株式会社（市場名：東証1部/JASDAQ、銘柄コード：4689、本社：東京都港区、設立年月日：1996年1月31日、代表取締役：井上雅博）が運営するYahoo! JAPANは、1か月あたり約4340万人のユニークカスタマー数（※1）と、1日13億7000万ページビュー（※2）のアクセスを誇るインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティー、コマース、モバイルなど多くのサービスを提供しています。

（※1）2007年2月のNielsen//NetRatings「NetView AMS JP」における家庭からの視聴率87.6%、職場からの視聴率89.3%というデータをもとに、家庭、または職場からのインターネットユーザーを約4945万人（NetRatings Japan「インターネット基礎調査」より）としてYahoo! JAPANのユニークカスタマー数を算出。

（※2）ページビューは、従来ウェブサーバーからの配信回数を計測した値を採用していましたが、2007年3月からブラウザでの表示回数をCSCにより計測した値を採用しています。